

総合医学、内科誌 Impact Factor 上位 3 誌の被引用回数と MEDLINE Publication Types の 2002-2004 年調査 : 後ろ向きコホート研究

三浦 誠

九州大学情報システム部情報基盤課電子サービス係
(前九州大学附属図書館医学分館)

I はじめに: Journal Citation Reports で、カテゴリーが「MEDICINE, GENERAL & INTERNAL」の、インパクトファクター上位三誌 New England Journal of Medicine(NEJM), JAMA, Lancet を「Web of Science」2002-4 年で、ドキュメントタイプが Article と Review 計 3,813 件について被引用回数調査をおこなった。また、各論文に MEDLINE の Publication Type を付加することで、EBM と関係のある論文、レビュー論文、Comparative Study(CS)等の各 Publication Type の被引用回数の傾向調査が行える。

II 方法: 「Web of Science」の「GENERAL SEARCH」から Science Citation Index Expanded (SCI-EXPANDED)--1900-present を Citation Databases とし、SOURCE TITLE に Impact Factor 上位三誌の「NEJM, JAMA, Lancet」と、調査期間である PUBLICATION YEAR を「2002-2004」で検索を行い、Document Type で被引用回数の多い論文 Article, Review を使用した。抽出したデータに、Ovid MEDLINE の Publication Type を付加して調査した。

III. 分析: 調査には Article と Review の計 3,813 件を使用した。それは全データの 22%を占める。Journal Article は総計 3,676 件で、総論文数の 96%を占め最も多いが、他の PT と共に出現する。次に多い順は Clinical Trial, Randomized Controlled Trial と続く。

IV. 考察:

1: NEJM の特徴 EBM 関係は自誌平均の 1.5 倍以上引用されている。CS は 3 年間平均すると約 1.5 倍であるが、1 に満たない年もある。

2: JAMA の特徴 EBM 関係は自誌平均の 1.3 倍以上引用されている。CS は 3 年間平均すると約 1.4 倍以上である。

3: Lancet の特徴 EBM 関係は自誌平均の 1.9 倍以上引用されている。CS は 3 年間平均すると約 1.6 倍であるが、年により、1.2 倍以下の年もある。

V. 結論: EBM 関係は 3 誌の平均で 1.7 倍以上引用されている。CS は 3 年間平均すると約 1.5 倍以上である。しかし、Review は、0.9 以下とあまり引用されていない。Review で、Meta-Analysis は、3 年平均で約 1.2 倍以上引用されている。件数は少ないが、Guideline は 3 年平均で約 3.9 倍と引用されている。特に Practice Guideline は 3 年間で 4 件と少ないが、平均で約 11.5 倍である。